

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	競争力のある産地づくり				予算施策コード	ns08	
担当部局名	農林水産部	農業振興局	農産園芸課	評価責任者	課長 清水 伸一	連絡先	4027

1 施策の内容

施策の目標	消費者ニーズの多様化、国際化の進展による産地間競争の激化、担い手の高齢化など農業を取り巻く環境が厳しいなか、適地適作を基本に、地域の特色を生かした活力ある産地を育成強化するためには、生産から流通・加工、環境対策など産地体制の整備が必要である。 このため、地域からの提案や創意工夫を生かし、各種施策を総合的に実施し、高品質・低コスト生産による収益性の向上や、耕畜連携による環境にやさしい農業の展開
これまでの取組み	地域の特色を生かした競争力ある産地づくりのため、新品種等の導入や栽培技術の改善、繁殖雌牛の増頭、モデル展示圃の設置、栽培管理施設・機械の整備や低コスト肉用牛生産の確立、有機・減農薬栽培や飼料生産の推進、光センサー選果機の整備等、産地の総合的な整備・強化と生産・流通・販売の一体的な改善に取り組んできた。 その結果、せとかや紅まどんな等の高品質かんきつ栽培や光センサー選果機による品質本位の販売等の普及、イチゴ高設栽培やトマトの養液土耕栽培による効率的野菜栽培の拡大、水田用高性能機械等を核とした集落営農の促進、自給飼料の増産等、高品質化に対応する生産・流通体制の強化が図られ、足腰の強い農業の確立と産地の活性化に大きく寄与している。

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	認定農業者数	B	戦略品種(紅まどんな、甘平、カラ)の生産量						
選択理由	産地を中心となって支える担い手の育成確保の状況が、産地としての競争力の評価につながるため。また、米・野菜・果樹・畜産等、全ての農畜産物に対する指標となるため。	選択理由	戦略品種の生産量の傾向を見ることで、農家の生産意欲と競争力のある産地づくりへの取り組み状況が分かる。						
算定方法	農業経営改善計画の認定状況	算定方法	戦略品種の生産量						
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	ストック	+	成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人			t			千円					
元年度	5,140	4,423	86.1%	8,065	8,098	100.4%	689,653	202,306	360,321	127,026		315,309
2年度	5,140	4,442	86.4%	9,000	8,369	93.0%	792,008	373,780	246,128	172,100	591,111	294,331
3年度	5,140	4,438	86.3%	9,760	R5.3頃判明	-	887,271	447,485	310,274	129,512	787,914	271,645
4年度 目標値	5,140			10,100			4年度当初予算					
最終目標	5,140			12,800								

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	農業は国の基であり、本県においても重要産業として推進しており、農業の盛衰が2・3次産業も含め地域経済に大きく影響を及ぼすことから、県が主体となって、生産から流通・加工、環境対策にわたる総合的な施策を実施し、競争力の強い産地育成と農家経営の安定を図る必要がある。また、近年の農畜産物価格の低迷により経営状況の厳しい中、農家負担軽減のためにも、県の総合的な支援が不可欠である。				
高い							
成果指標A		説明	地域農業を担う認定農業者数は、令和5年度の目標値(5,140経営体)に近いものになっている。また、果樹戦略品種の生産量は、着実に増加しており、各種事業において効果が上がっているものと考えられる。農家の高齢化や価格低迷など厳しい状況にあるが、今後とも各種事業を計画的に実施し、目標達成に向け、一層の産地振興に努める必要がある。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	戦略品種の栽培面積は品種更新により、順調に増加している。生産量については秋期の降雨により甘平の裂果が著しかったことに起因している。生産量も栽培技術、施設の導入等により安定化が図れるものとする。これらの戦略品種は需要が高いため、今後も計画的な更新をすすめ、農家の生産意欲向上と競争力のある産地づくりを実現する必要がある。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.31	順調・向上	成果向上余地	1.69	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	国においては、令和2年3月に新たな食料・農業・農村基本計画が見直し、食料・農業・農村の持続性を高めながら、農業や食品産業の成長産業化を促進する「産業政策」と、多面的機能の維持・発揮を促進する「地域政策」とを車の両輪として、輸出促進、担い手の確保、生産基盤の強化などの施策を講じ、食料自給率の向上・食料安全保障の確立を図ることとしている。県においても、令和3年3月に「えひめ農林水産業振興プラン2021」を策定しており、「儲かる農業」の展開と農村の活性化に取り組んでいきたいと考えている。
-------------	---

3 施策の今後の方向性

<p>消費者ニーズの多様化、国際化の進展による産地間競争の激化等、農業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、地域農業の盛衰が2・3次産業も含めた地域経済に大きく影響を及ぼしている。地域経済の活性化という観点からも、県が主体となって生産から加工・流通、環境保全に渡る産地体制を重点的に整備し、地域の特色を生かした適地適作を基本とした活力ある産地の育成・強化に取り組む。また、生産者と消費者が直結した流通システムの構築により、産地化推進につなげる新たな取組みを行う。</p>

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

ns08

競争力のある産地づくり

1 果樹流通施設緊急整備事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	1	実施無	1	0	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
活動 +	機能向上取組実施主体数	団体	実績	1	1		事業費計		124,700	0	401,650	0					
成果 +	達成率	100.00%	100.00%			国費	124,700			401,650							
指標種類2	指標名称2	単位	計画	520	実施無	530	540		その他								
成果 +	農業産出額のうち果樹の産出額	億円	実績	527	R5.3判明			事業費計	115,000	0	396,325	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	毎年必ず実施するとは限らないが、要望があれば実施するので、「このまま継続」とする			
指標種類3	指標名称3	単位	計画				国費	115,000		396,325							
実績							その他										
達成率	101.35%						県費										
実施期間	始期 H22	終期 R3	事業の概要					人役	0.4		0.4						
主に各JAが有する果樹共同選果施設について、高品質・高付加価値化、低コスト化に対応する高機能な集出荷貯蔵施設等の整備を実施することにより、受益農家の所得向上と産地のブランド力強化を図る。								人件費	2,723		2,420						
2 産地収益力強化支援事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	実施無	56067	56067	56067	56067	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい
成果 +	野菜主要振興品目の生産量	t	実績	51702	R5.3判明			事業費計		0	304,697	14,044	8,979				
達成率	92.21%						国費				304,697	14,044	8,979				
指標種類2	指標名称2	単位	計画	実施無	26072	26072	26072	その他									
成果 +	花き主要振興品目の生産量	千本・千鉢	実績	17700	R5.3判明			事業費計	0	254,287	5,425		見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	各産地の収益力を強化するため、要望に応じた継続実施が必要		
指標種類3	指標名称3	単位	計画				国費			254,287	5,425						
実績							その他										
達成率	67.89%						県費										
実施期間	始期 H28	終期 R4	事業の概要					人役			0.4	0.4					
国際環境の変化にも対応できる収益力の高い産地づくりを進めるため、県や各地域等が策定する産地パワーアップ計画に基づき、各産地の収益性の向上に資する施設の整備や機械・資材等の導入を支援する。								人件費		2,707	2,420						
3 野菜・花き等産地供給力強化支援事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R7)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい	
指標種類1	指標名称1	単位	計画		56,067	56,067	56,067	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい	
成果 +	野菜主要振興品目の生産量	t	実績		R5.3判明				事業費計	0	0	15,419					15,419
達成率							国費										
指標種類2	指標名称2	単位	計画		26,072	26072	26072		その他								15,419
成果 +	花き主要振興品目の生産量	千本・千鉢	実績		R5.3判明			事業費計	0	0	9,838		見直し方向性	方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 有効性改善 方向3 成果向上	JA組織の集出荷施設の再編・統合に伴い、事業メニューを拡充して、各地域の実情に応じた産地振興を支援		
指標種類3	指標名称3	単位	計画				国費				9,838						
実績							その他										
達成率							県費										
実施期間	始期 R3	終期 R7	事業の概要					人役				0.6					
令和3年度に策定した愛媛県野菜・花き振興計画に基づき、各地域の産地育成に必要な施設・機械等の導入を支援し、県下の野菜・花き産地の供給力強化を図る。								人件費			3,630						

4 未来型果樹産地強化支援事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり					
指標種類1	指標名称1			単位	計画			3	3	予算	事業費計	0	0	103,742	93,372	評価							
活動	+	70-	豪雨災害復興支援	地区数	実績			2			国費												
					達成率			66.67%		その他			103,742	93,372									
指標種類2	指標名称2			単位	計画			8	8	決算	事業費計	0	0	95,638	見直し方向性								
活動	+	70-	未来型果樹園・果樹園施設の高効率化支援づくり推進支援	地区数	実績			12			国費												
					達成率			150.00%		その他			95,638										
指標種類3	指標名称3			単位	計画			530	540	人役	事業費計												
成果	+	70-	農業産出額のうち果樹の産出額	地区数	実績			R5.3頃判明			人件費			1.2									
					達成率					人件費			7,260										
実施期間	始期	終期	事業の概要																				
	R3	R7	果樹農業振興計画(目標R12年度)の基本理念「未来型果樹園の創造とブランド果実の安定供給による儲かる果樹農業の確立」のもと、豪雨災害からの復興、生産基盤の強化、商品力の向上等を推進し、未来型果樹園を核とした産地の強化を図る。																				

5 水田農業競争力強化支援事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4年度)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり					
指標種類1	指標名称1			単位	計画			11	12	予算	事業費計	0	0	41,000	42,000	評価							
活動	+	70-	現地実証ほの設置数	箇所	実績			5			国費				1,166								
					達成率			45.45%		その他			41,000	40,834									
指標種類2	指標名称2			単位	計画			10	10	決算	事業費計	0	0	38,079	見直し方向性								
活動	+	70-	新規事業実施地区数	箇所	実績			11			国費												
					達成率			110.00%		その他			38,079										
指標種類3	指標名称3			単位	計画			350	600	人役	事業費計												
成果	+	70-	ひめの凜の作付面積	ha	実績			312			人件費			0.8									
					達成率			89.14%		人件費			4,840										
実施期間	始期	終期	事業の概要																				
	R3	R7	県米・麦・大豆生産振興ビジョンを策定し、えひめブランドの確立による産地価値の底上げを図るとともに、生産基盤の強化により収益性の高い大規模経営体の育成を図る。											R3年度策定の県米・麦・大豆生産振興ビジョンを基に米・麦・大豆の生産振興ビジョンを策定した。									
																方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 有効性改善 方向3 成果向上							
																R3年度策定の県米・麦・大豆生産振興ビジョンを基に米・麦・大豆の生産振興ビジョンを策定した。							
															R3年度策定の県米・麦・大豆生産振興ビジョンを基に米・麦・大豆の生産振興ビジョンを策定した。								

6 畜産基盤施設再生支援事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3年度)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	18	24	25	25	予算	事業費計	30,000	30,000	30,000	0	評価							
成果	+	70-	県内畜産クラスター協議会数	件	実績	23	24	26			国費												
					達成率	127.78%	100.00%	104.00%		その他	30,000	30,000	30,000										
指標種類2	指標名称2			単位	計画	12	13	11	11	決算	事業費計	29,679	28,860	29,742	見直し方向性								
成果	+	70-	本事業に係る畜産クラスター計画の認定数	件	実績	12	13	11			国費												
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他	29,679	28,860	29,742										
指標種類3	指標名称3			単位	計画	26	31	23	23	人役	事業費計												
活動	+	70-	事業取組件数	件	実績	26	31	23			人件費	0.3	0.3	0.3									
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%		人件費	2,042	2,030	1,815										
実施期間	始期	終期	事業の概要																				
	R1	R3	畜産担い手が将来にわたり安定経営を持続できる産地づくりに向けて、国事業の支援対象とならない既存施設の再生整備によるシステム効率化や分業体制構築を進める畜産クラスター協議会に対し、県独自の支援を行い、本県畜産業の体質強化を図る。											本事業終了時の目標としていた「県下25以上の畜産クラスター協議会の設立」、「累積で30以上の畜産クラスター計画認定数」及び「75以上の取組み」を達成できた。									
																方向1 休止・廃止 方向2 方向3							
																畜産基盤施設の再生支援により、収益の向上については、一定の成果を得たため、本事業は令和3年度で廃止とする。次年度以降は、本事業で構築した畜産クラスターの体制を活用し、本事業の課題として残った生産性向上を図るとともに、それに伴う更なる収益の向上に向けた事業を実施。							

7 西宇和地域柑橘業落着農組織支援事業費(南宇)				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり					
指標種類1	指標名称1			単位	計画			3	2	予算	事業費計	0	0	1,506	869	評価							
活動	0	スタツ	協議会の開催	回	実績			2			国費												
					達成率					その他													
指標種類2	指標名称2			単位	計画			3	3	決算	事業費計	0	0	970	見直し方向性								
活動	0	スタツ	研修会の開催	テーマ	実績			4			国費												
					達成率					その他													
指標種類3	指標名称3			単位	計画			1	2	人役	事業費計												
成果	0	スタツ	モデル園の設置	件	実績			1			人件費			0.4									
					達成率					人件費			2,420										
実施期間	始期	終期	事業の概要																				
	R3	R4	日本有数の柑橘産地である西宇和地域の担い手不足に対応するため、関係者で組織する支援協議会を立ち上げ、新たな営農組織の掘り起こしや法人化の推進を行うとともに、設立法人には新規就農者の確保や経営力強化に向けた支援を行い、集落営農モデルを確立し、柑橘産地での波及を目指す。																				
																方向1 このまま継続 方向2 方向3							

8 地域農業生産流通体制推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地が小 さい
指標種類1	指標名称1	単位	計画	5,440	5,440	5,440	5,440	事業費計 5,678 15,989 2,821 2,821 国費 2,000 13,168 その他 県費 3,678 2,821 2,821 2,821 事業費計 4,403 11,313 1,215 国費 その他 県費 4,403 11,313 1,215 人役 0.2 0.3 0.3 人件費 1,362 2,030 1,815	R元年度 R2年度 R3年度 R4年度 5,678 15,989 2,821 2,821 2,000 13,168 3,678 2,821 2,821 2,821 4,403 11,313 1,215 4,403 11,313 1,215 0.2 0.3 0.3 1,362 2,030 1,815	野菜指定産地の状況に大きな変動はなく成果はほぼ横ばいである。野菜生産が減少傾向の中、成果向上の余地は小さい。	方向1 このまま継続 方向2 方向3	産地の流通販売体制を強化するため、継続実施が必要。				
成果 +	野菜の栽培面積	ha	実績	3,790	3,651	R5.3頃判明										
			達成率	69.67%	67.11%	-										
指標種類2	指標名称2	単位	計画	1	1	1										
活動 +	実施地区数	地区	実績	1	1	1										
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%										
指標種類3	指標名称3	単位	計画													
			実績													
			達成率													
実施期間	始期 終期	事業の概要														
	H17	消費者ニーズや流通の多様化に対応できる集出荷施設や加工施設の導入に向けて調査検討を行う活動を支援するとともに、農産物の流通販売状況の調査や流通改善等の指導を行う。また、持続的生産に向けた新たな営農技術体系を検討する取り組み等を支援する。														

9 甘長とうがらし産地強化事業費 (東予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画		2.0	2.2	2.5	事業費計 0 0 860 2,129 国費 その他 県費 事業費計 0 0 604 国費 その他 県費 人役 人件費	R元年度 R2年度 R3年度 R4年度 0 0 860 2,129 0 0 604 604 0.8 4,840	新規病害の発生や天候不良の影響により、今年度の生産量は伸び悩んだが、栽培技術の検討や新規栽培者の確保に関係機関が一体となり取り組んだ結果、新規栽培者数、販売金額は増加する見込であり、一定の成果向上の余地がある。	方向1 統合 方向2 方向3	今治圏域で栽培を推進している新規品目「オリーブ」醸造用ぶどう」「夏季レモン」「甘長とうがらし」について、地域ブランドとして販路の拡充と栽培面積の拡大を同時に進めることが効率的なため、4品目の生産力のアップと生産者の確保及び安定した販売展開により認知度向上と地域農業モデルを確立する。(新事業名:しまなみ地域の魅力ある農業産地化事業)				
成果 +	甘長とうがらし栽培面積	ha	実績		1.7											
			達成率	-	85.00%	-										
指標種類2	指標名称2	単位	計画		3,300	3,500	4,500									
成果 +	甘長とうがらし販売額	万円	実績		2,600											
			達成率	-	78.79%	-										
指標種類3	指標名称3	単位	計画													
			実績													
			達成率	-	-	-										
実施期間	始期 終期	事業の概要														
	R3 R5	今治産甘長とうがらしは、軽量で高収益が見込まれる品目であるため、低コスト・省力化などの生産力向上や、新規栽培者の確保、ブランド化の推進に取り組み、栽培面積の拡大や農家所得の向上による産地基盤の強化を図る。														

10 しまなみ産夏季レモン栽培体系確立事業費 (東予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4年度)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	0.25	0.50	0.70	0.7	事業費計 0 750 720 0 国費 その他 県費 事業費計 0 606 692 国費 その他 県費 人役 人件費	R元年度 R2年度 R3年度 R4年度 0 750 720 0 606 692 606 692 0.6 0.6 4,060 3,630	現行のハウス仕様で化石燃料を極力使用しない実証技術により、夏季どりレモンは、全体収量の約15%まで生産の拡大が可能であると実証できた。今後の生産指標を達成するためにはハウスの増加が必要であり、立地条件を考慮しつつ産地ブランドとしての生産意識の拡大と夏どり生産に取り組む生産者の誘導を推進する。	方向1 統合 方向2 方向3	今治圏域で栽培を推進している新規品目「オリーブ」醸造用ぶどう」「夏季レモン」「甘長とうがらし」について、地域ブランドとして販路の拡充と栽培面積の拡大を同時に進めることが効率的なため、4品目の生産力のアップと生産者の確保及び安定した販売展開により認知度向上と地域農業モデルを確立する。(新事業名:しまなみ地域の魅力ある農業産地化事業)				
成果 +	夏季レモン取り組み面積	ha	実績	0.31	0.31											
			達成率	124.00%	62.00%	-										
指標種類2	指標名称2	単位	計画	1	3	7										
成果 +	夏季レモン出荷量	t	実績	1.5	2.9											
			達成率	150.00%	96.67%	-										
指標種類3	指標名称3	単位	計画													
活動 +		事業	実績													
			達成率	-	-	-										
実施期間	始期 終期	事業の概要														
	R2 R4	しまなみ地域は、県下最大のレモン産地であるが、国産品の端境期となる夏季(7~9月)は高単価に取引されるため生産技術を開発し、農家の所得増加と産地ブランド力アップによる地域農業の活性化を図る。														

11 醸造用ぶどう生産力強化事業費 (東予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4年度)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	2.0	2.5	3.5	3.5	事業費計 0 970 900 0 国費 その他 県費 事業費計 0 692 760 国費 その他 県費 人役 人件費	R元年度 R2年度 R3年度 R4年度 0 970 900 0 692 760 692 760 0.5 0.6 3,383 3,630	8~9月の長雨により収穫前に病害果が多発したため、生産量は、昨年産比103%と横ばいになった。しかし、防除暦を見直し、薬剤の散布を増やすなど、来年度に向けた栽培改善に取り組んでおり、栽培面積も順調に増加していることから、一定の成果向上の余地がある。	方向1 統合 方向2 方向3	今治圏域で栽培を推進している新規品目「オリーブ」醸造用ぶどう」「夏季レモン」「甘長とうがらし」について、地域ブランドとして販路の拡充と栽培面積の拡大を同時に進めることが効率的なため、4品目の生産力のアップと生産者の確保及び安定した販売展開により認知度向上と地域農業モデルを確立する。(新事業名:しまなみ地域の魅力ある農業産地化事業)				
成果 +	栽培面積	ha	実績	2.3	2.9											
			達成率	115.00%	116.00%	-										
指標種類2	指標名称2	単位	計画	10	20	25										
成果 +	生産量	t	実績	6.4	6.6											
			達成率	64.00%	33.00%	-										
指標種類3	指標名称3	単位	計画													
			実績													
			達成率	-	-	-										
実施期間	始期 終期	事業の概要														
	R2 R4	県内初の醸造用ぶどう産地の育成を図るため、「醸造用ぶどう産地化推進協議会」を設置し、栽培希望者の受入体制の検討や実証試験等を行い、生産面積の拡大や栽培技術の確立に取り組む。														

12 新花村ピットスポラム等生産力強化事業費（東予）		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4年度)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類1	指標名称1	単位	計画	8.4	9.5	10.5	11.5	11.5	事業費計	1,866	1,454	1,168	0	評価	優良種苗の生産から新規栽培者の確保育成、栽培技術の高度化等を関係機関が一体となって取り組んだ結果、栽培面積が増加した。						
成果 +	栽培面積	ha	実績	8.67	10.06	11.47		国費													
			達成率	103.21%	105.89%	109.24%		その他													
指標種類2	指標名称2	単位	計画	10	10	10	10	10	事業費計	1,866	1,454	1,168	見直し 方向性					方向1 休止・廃止 方向2 方向3	今後は、農協主体で産地振興を図るが、東予地方局としても、新規栽培者の育成や収益確保に向けた早期の成園化、ブランド化など普及活動の一環で支援し、目標達成を目指す。		
活動 +	販売促進活動・研修会等開催数	回	実績	11	19	12		国費													
			達成率	110.00%	190.00%	120.00%		その他													
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計	1,560	968	671										
			実績					国費													
			達成率					その他													
			計画					県費	1,560	968	671										
			実績					人役	1.7	1.7	1.7										
			達成率					人件費	11,571	11,503	10,285										
実施期間	始期 R1 終期 R3	事業の概要 軽量で収益性の高いピットスポラム等の花木の産地化及びブランド化を推進する。																			

13 しまなみ産オリーブ特産化促進事業費（東予）		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類1	指標名称1	単位	計画	2	4	7	7	7	事業費計	1,599	1,500	1,300	0	評価	目標未達であるが、新規栽培予定者が4名おり、既存生産者3名も規模拡大を計画している。来年度には目標達成する見込みである。						
成果 +	オリーブ栽培面積	ha	実績	2	3	4.2		国費	1,599	1,500	1,300										
			達成率	100.00%	75.00%	60.00%		その他													
指標種類2	指標名称2	単位	計画					事業費計	1,482	977	994		見直し 方向性					方向1 休止・廃止 方向2 方向3	本事業の集大成で作成した栽培管理マニュアルを活用し、生産者の確保と栽培技術の平準化を図る。さらに、しまなみ地域の他品目との連携を強化して販売拡大に取り組んでいく。		
			実績					国費													
			達成率	-	-	-		その他													
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計	1,482	977	994										
			実績					国費	1,482	977	994										
			達成率	-	-	-		その他													
			計画					県費	1,482	977	994										
			実績					人役	1.3	0.8	0.8										
			達成率	-	-	-		人件費	8,848	5,413	4,840										
実施期間	始期 R1 終期 R3	事業の概要 関係機関で構成するオリーブ特産化推進連絡会を開催し、計画的な産地拡大を図るとともに、栽培技術の向上や加工品開発等によりオリーブ栽培の魅力を高め、県内初のオリーブ産地を育成する。																			

14 七折小梅産地再興支援事業費（中予）		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1	単位	計画			3	3	3	事業費計	0	0	1,959	1,785	評価	原因の解明には多様な要因が関係し、特定することが困難な部分が多く、またその対策も試行錯誤を重ねている状況、しかし、優良系統の選抜により問題解決の可能性が出てきており、施策の成果が期待できる。							
成果 +	実証ほ等の設置数	箇所	実績			3		国費														
			達成率	-	-	100.00%		その他														
指標種類2	指標名称2	単位	計画			3	5	5	事業費計	0	0	1,607	1,785					見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	優良系統の選抜と品質調査は継続が必要、また、生産安定のための技術対策は、今後のためにも継続した模索検証が必要である。		
成果 +	優良系統樹の調査樹数	樹	実績			3		国費														
			達成率	-	-	100.00%		その他														
指標種類3	指標名称3	単位	計画			3	3	3	事業費計	0	0	1,607										
成果 +	プロジェクト会議の開催	回	実績			3		国費														
			達成率	-	-	100.00%		その他														
			計画			3		県費			1,607											
			実績			3		人役			0.7											
			達成率	-	-	100.00%		人件費			4,235											
実施期間	始期 R3 終期 R5	事業の概要 砥部町七折小梅は近年生産量が不安定化し減少している。そこで、原因の解明とともに対策を見出すことで生産の安定化を図り、農家所得の増大と地域の活性化を図る。																				

15 なす産地強化対策事業費（中予）		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類1	指標名称1	単位	計画			2	2	2	事業費計	0	0	1,868	1,721	評価	化学合成農薬の防除効果が低下する中、天敵の利用により、農薬の散布回数が増加しており、品質は同等以上となった。新規栽培者は確保されており、着実な事業の実施が見込まれる。						
活動 +	検討会の開催回数	回	実績			2		国費													
			達成率	-	-	100.00%		その他													
指標種類2	指標名称2	単位	計画			27	20	20	事業費計			1,868	1,721					見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3		
成果 -	防除回数（施設）	回	実績			20		国費													
			達成率	-	-	135.00%		その他													
指標種類3	指標名称3	単位	計画			2	2	2	事業費計	0	0	1,598									
成果 +	新規栽培者	人	実績			4		国費													
			達成率	-	-	200.00%		その他													
			計画			2		県費			1,598										
			実績			4		人役			0.3										
			達成率	-	-	200.00%		人件費			1,815										
実施期間	始期 R3 終期 R5	事業の概要 なす産地の強化を図るため、化学合成農薬に頼らない天敵昆虫を利用した防除技術の確立や新規栽培者の確保に取り組む。																			

16 さくらひめ鉢物産地づくり推進事業費(中予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R4)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画		13	15	15	事業費計	0	0	1,606	1,591	評価 コロナ禍の中、ホームユース需要が見込まれる品目として注目され、生産者数や生産鉢数は微増ながら着実に増加しており、最終目標の達成に向けた着実な事業の実施が見込まれる。	方向1 方向2 方向3	このまま継続	見直し方向性	
成果 +	70- さくらひめ鉢物生産者数	人	実績		14		国費										
			達成率		107.69%		その他										
指標種類2	指標名称2	単位	計画		18	20	20	事業費計	0	0	1,226	1,226					
成果 +	70- さくらひめ生産鉢数	千鉢	実績		18.7		国費										
			達成率		103.89%		その他										
指標種類3	指標名称3	単位	計画		9	6	6	事業費計			1,226						
活動 +	70- 実証ほの設置	箇所	実績		9		国費										
			達成率		100.00%		その他										
			達成率				県費				0.4						
実施期間	始期 R3	終期 R4	事業の概要					人役			0.4						
			中予地域は、「さくらひめ」の鉢物の栽培面積、生産者数とも県内1位であるが、生産技術や流通販売体制が未確立であることから、安定生産技術の確立と市場・消費者ニーズの把握、産地情報の発信等に取り組む。					人件費			2,420						

17 東温パクチャー産地づくり事業費(中予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R3)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	設定無	1,000	1,000	1,000	事業費計	2,278	2,232	1,837	0	評価 東温市を中心に松山市や砥部町広田地区でも栽培が広がり、生産者や栽培面積は増加している。しかしながら、全国的に出荷の少ない夏季出荷をはじめ、生産量は未だ少なく、引き続き、年間を通して安定して出荷できる技術の確立に取り組む。	方向1 方向2 方向3	休止・廃止	見直し方向性
成果 +	70- 9月のパクチャーJA共同出荷量	kg	実績		167	764	国費									
			達成率		16.70%	76.40%	その他									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	80	110	130	130	事業費計	2,278	2,232	1,837					
成果 +	70- パクチャー生産面積	7-ル	実績	100	125	144	国費	1,871	1,185	1,310						
			達成率	125.00%	113.64%	110.77%	その他									
指標種類3	指標名称3	単位	計画	3	8	5	5	事業費計	1,871	1,185	1,310					
活動 +	70- 周年安定生産技術の実証箇所数	箇所	実績	5	7	3	国費	1,871	1,185	1,310						
			達成率	166.67%	87.50%	60.00%	その他									
			達成率				県費	0.4	0.4	0.4						
実施期間	始期 R1	終期 R3	事業の概要					人役			0.4					
			東温で平成29年から栽培されているパクチャーの産地化を図るため、周年安定生産技術の実証および東温パクチャーのPR活動を実施する。					人件費	2,723	2,707	2,420					

18 伊予柑を中心とした柑橘産地復興モデル確立事業費(中予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R3年度)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	3	3	3	3	事業費計	1,889	1,885	1,559	0	評価 目標どおり労働時間を削減して経営拡大モデルを提示できた。ドローン防除や家庭用の画像解析選果機などにも生産者の関心が高まっており、事業終了後も関係機関と連携して省力化技術の普及と産地振興に取り組む。	方向1 方向2 方向3	休止・廃止	見直し方向性
活動 +	70- 検討会の開催回数	回	実績	3	3	3	国費									
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	160	155	145	145	事業費計	1,889	1,885	1,559					
成果 -	70- 10aあたり年間労働時間	時間	実績	160	155	145	国費	1,690	1,703	1,205						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他									
指標種類3	指標名称3	単位	計画	3	5	10	10	事業費計	1,690	1,703	1,205					
成果 +	70- 省力化技術導入農家数	人	実績	3	5	8	国費	1,690	1,703	1,205						
			達成率	100.00%	100.00%	80.00%	その他									
			達成率				県費	0.8	0.8	0.8						
実施期間	始期 R1	終期 R3	事業の概要					人役			0.8					
			平成30年7月豪雨災害からの早急な復旧とより効率的な栽培体系が望まれていることから、中予の果樹基幹品目「伊予柑」の省力化技術を確立し、「果樹産地の体質強化」と「儲かる柑橘経営」の実現を目指す。					人件費	5,445	5,413	4,840					

19 久万高原の漬物向け野菜産地再興事業費(中予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R3)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	600	680	760	760	事業費計	1,379	1,379	1,379	0	評価 ブランドづくり推進会議内での生産・販売拡大の検討、実証ほの設置による生産拡大実証等方策は講じたものの、コロナ禍による道の駅の来客数・売上減少の影響を大きく受け、漬物売上額については低迷を余儀なくされた。コロナ禍が収まれば回復・向上の余地はある。	方向1 方向2 方向3	休止・廃止	見直し方向性
成果 +	70- 漬物売上額	万円	実績	573	392	345	国費									
			達成率	95.50%	57.65%	45.39%	その他									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	3	3	3	3	事業費計	1,379	1,379	1,379					
活動 +	70- ブランドづくり推進会議の開催	回	実績	3	3	3	国費	1,370	1,229	1,074						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他									
指標種類3	指標名称3	単位	計画	1	1	1	1	事業費計	1,370	1,229	1,074					
活動 +	70- 実証ほの設置	箇所	実績	1	1	1	国費	1,370	1,229	1,074						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他									
			達成率				県費	1.1	1.1	1.1						
実施期間	始期 R1	終期 R3	事業の概要					人役			1.1					
			久万高原町において漬物向け野菜の品種選定や高齢者向けの栽培体系の確立を図り地域伝承の漬物加工技術と移住者等の新たな感性をマッチングした漬物の商品価値向上を支援して漬物向け高原野菜の生産拡大による農業者の所得向上と山村過疎地域の活性化を図る。					人件費	7,487	7,443	6,655					

20 種用サトイモ生産体制確立事業費(南予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R5)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり					
指標種類1	指標名称1	単位	計画			17	18	20	事業費計	0	0	600	600	評価 今まで取り組んでいなかったセル苗を用いた種用サトイモ生産技術を実証することで、興味を示す生産者が現れた。また、種用サトイモの出荷数量も計画に達する見込みである。種用サトイモの生産体制確立に向けて今後も活動を継続する。	見直し方向性 方向1 方向2 方向3						
成果 +	種用サトイモ出荷数量	t	実績			20			国費												
			達成率			117.65%			その他												
指標種類2	指標名称2	単位	計画			2	4	6	事業費計	0	0	331	600								
成果 +	セル苗栽培戸数	戸	実績			2			国費												
			達成率			100.00%			その他												
指標種類3	指標名称3	単位	計画						県費			331	600								
			実績						人役			1.0									
			達成率						人件費			6,050									
実施期間	始期 R3	終期 R5	事業の概要					セル苗を用いた種用サトイモの生産技術や保管技術を実証・普及するとともに、「サトイモ疫病」発生防止対策の徹底を図り、安定した品質・量の種用サトイモの生産体制を確立する。なお、評価実績の「種用サトイモ出荷数量」については見込み数値を記載(翌年4月に実績値判明のため)													

21 高級菓子用くだもの育成・ブランド開発事業費(南予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R3)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	125	125	125	125	事業費計	1,100	1,800	1,800	0	評価 かきの買取価格見直しや、早採りの試験の実施など生産者が作りやすい環境を整えてきた結果、栽培に興味を示す生産者が現れた。また、積極的な働きかけにより商品開発も進んでいる。	見直し方向性 方向1 方向2 方向3						
成果 +	4品目前年対比出荷数量	%	実績	284	144	119			国費											
			達成率	227.20%	115.20%	95.20%			その他											
指標種類2	指標名称2	単位	計画	2	2	2	2	事業費計	797	1,231	995	1,800								
成果 +	販売戦略及び加工品等の提案品目数	%	実績	2	3	4			国費											
			達成率	100.00%	150.00%	200.00%			その他											
指標種類3	指標名称3	単位	計画	4	4	4	4	事業費計	797	1,231	995	1,800								
活動 +	源吉兆庵ファクトリー「ラント」促進協議会開催回数	回	実績	4	3	2			国費											
			達成率	100.00%	75.00%	50.00%			その他	797	1,231	995								
実施期間	始期 R1	終期 R3	事業の概要					(株)源吉兆庵を含めた協議会で、進捗や課題を共有しながら、主要4品目(もも・くり・びわ・かき)の高収量・安定生産、地域農産物の加工利用提案、農業法人等への大規模生産の働きかけなどを行い加工用くだもの産地化を図る。									産地づくりの最終仕上げとして、早採り栽培技術の確立など残された課題に取り組むため、新規予算措置を講じる。			

22 新たな果樹産地づくり推進事業費(南予)		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標(R3年度)	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	8.9	9.4	11.2	11.2	事業費計	2,805	2,805	2,659	0	評価 新規戦略品目として位置付けたアボカド、うめ、フィンガーライム及び川田温州州について、高品質安定生産や省力化技術の確立及び普及に努めた結果、栽培面積は着実に増加し産地化が進んだ。	見直し方向性 方向1 方向2 方向3						
成果 +	栽培面積	ha	実績	8.0	8.7	9.74			国費											
			達成率	89.89%	92.55%	86.96%			その他											
指標種類2	指標名称2	単位	計画	11	14	14	14	事業費計	2,259	1,486	1,849	2,659								
活動 +	講習会・研修会等の開催回数	回	実績	13	13	12			国費											
			達成率	118.18%	92.86%	85.71%			その他											
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計	2,259	1,486	1,849	2,659								
			実績						国費											
			達成率						その他											
実施期間	始期 R1	終期 R3	事業の概要					県は、普及指導計画(南予局)である「産地づくりビジョン」にアボカド、うめ、フィンガーライム及び川田温州州を新規戦略品目と位置付けて生産振興から出口戦略まで一体的に取り組む。南予地域の農業の活性化を図る。												

23 野菜生産出荷安定資金造成事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト(単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	21	21	21	21	事業費計	0	0	30,117	27,113	評価 事業対象産地数や交付予約数量、出荷実績に大きな変動はなく成果は横ばいである。野菜生産が減少傾向の中、成果向上の余地は小さい。R元年度、R2年度は追加造成不要(全額減額補正)。	見直し方向性 方向1 方向2 方向3						
成果 +	交付予約数量	千t	実績	16	15	15			国費											
			達成率	76.19%	71.43%	71.43%			その他			30,117					27,113			
指標種類2	指標名称2	単位	計画	80	80	80	80	事業費計	0	0	22,847									
成果 +	交付予約数量に対する出荷実績割合	%	実績	82	90	79			国費											
			達成率	102.50%	112.50%	98.75%			その他	0	0	22,847								
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計	0	0	22,847									
			実績						国費											
			達成率						その他	0	0	22,847								
実施期間	始期 S41	終期	事業の概要					国や県が指定・選定した一定規模以上の産地に対して、価格低落時に基準価格と販売価格との差額を補填する野菜価格安定対策に必要な資金を造成し、生産者の経営の安定化・消費者への安定供給に資する。									本事業は国の制度(野菜生産出荷安定法)に基づいており、継続実施が必要。			

24 ひめの凜ブランド確立事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	3大きく成果向上する	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	10	10	10	10	事業費計 10,918 国費 1,756 その他 9,162 事業費計 8,507 国費 1,756 その他 6,751 人役 1.6 人件費 10,890	10,918	10,974	9,474	0	評価 美味しさ基準に合わせた栽培技術の徹底で、1ha規模の農家を中心に計画的な面積拡大ができた。	4成果順調である	向上 余地	3大きく成果向上する	
活動 +	70- 現地実証ほの設置数	箇所	実績	12	12	12	国費		1,756	710	710						
			達成率	120.00%	120.00%	120.00%	その他										
指標種類2	指標名称2	単位	計画	6	8	8	8		事業費計	8,507	6,205	5,451					
活動 +	70- 研修会の開催回数	回	実績	9	6	18	国費		1,756	710	180						
			達成率	150.00%	75.00%	225.00%	その他				5,271						
指標種類3	指標名称3	単位	計画	10	20	30	30		事業費計	6,751	5,495						
成果 +	70- プレミアムクオリティの割合	%	実績	12	23	30	人役		1.6	1.6	1.6						
			達成率	120.00%	115.00%	100.00%	人件費		10,890	10,826	9,680						
実施期間	始期 R1	終期 R3	事業の概要						ひめの凜ブランド確立事業は終了し、更なる面積拡大のため、中小規模農家へも働きかけのため、JAの集荷体制整備及び生産拡大に合わせて新たな販路開拓のためのPRを実施する新規事業を実施する。								
			令和元年度から生産、販売が始まった県産米「ひめの凜」について、生産振興、ブランディングの取組みを一体的に行うことで、競争力ある本県オリジナルの良食味米としてのブランドを確立する。														

25 未来型農林水産プロジェクト推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余地が小さい	
指標種類1	指標名称1	単位	計画		1	1	1	事業費計 0 国費 0 その他 0 事業費計 0 国費 0 その他 0 人役 0 人件費 18,945	0	6,500	8,104	9,288	評価 新規2課題が採択され、「さといも」と「かんきつ」について次代を担う新品種の開発が期待される。本事業は、10年先の産地目標実現を目指して、目標設定型の試験研究を展開しており、今後も継続し、本県農林水産業の更なる活性化を推進する。	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余地が小さい	
成果 +	70- 採択課題数	件	実績		3	2	2		事業費計	0	5,274	7,230					
			達成率		300.00%	200.00%	200.00%		国費								
指標種類2	指標名称2	単位	計画		8	8	8		事業費計	0	5,274	7,230					
活動 +	70- 応募テーマ数	テーマ	実績		19	6	6		国費								
			達成率		237.50%	75.00%	75.00%		その他								
指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計	0	5,274	7,230					
			実績						国費		5,274	7,230					
			達成率						その他								
実施期間	始期 R2	終期 R5	事業の概要						各地域の将来目標を実現する研究テーマを掲げ、目標設定解決型の試験研究を展開し、農林水産業の更なる活性化を推進する。								
			各地域の将来目標を実現する研究テーマを掲げ、目標設定解決型の試験研究を展開し、農林水産業の更なる活性化を推進する。														

26 キウイフルーツ花粉安定生産技術開発試験費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画	0	0	1	1	事業費計 3,795 国費 3,795 その他 0 事業費計 3,725 国費 3,725 その他 0 人役 0.6 人件費 4,084	3,795	3,807	2,485	0	評価 これまでに、花粉生産に向く品種の選抜や整枝法の開発、現場対応可能なかきょう病検定手法などの技術を確立した。現場では花粉生産が始まるとともに、花粉精製施設が整備され、県内での花粉生産・供給体制が構築できた。	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余地あり	
成果 +	70- 技術マニュアルの作成	数	実績	0	0	1	1		事業費計	3,795	3,807	2,485					
			達成率			100.00%	100.00%		国費	3,795	3,807	2,485					
指標種類2	指標名称2	単位	計画	5	5	3	3		事業費計	3,725	3,736	2,485					
活動 +	70- 花粉生産技術の試験数	件	実績	5	5	3	3		国費								
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%		その他								
指標種類3	指標名称3	単位	計画	3	3	3	3		事業費計	3,725	3,736	2,485					
活動 +	70- 花粉ビジネス検討会の開催数	回	実績	2	3	3	3		国費								
			達成率	66.67%	100.00%	100.00%	100.00%		その他								
実施期間	始期 H29	終期 R3	事業の概要						世界的なかきょう病の流行による花粉価格の急騰、輸入検疫の強化による花粉の輸入ストップといったリスクを回避し、日本一の産地を堅持するために、全国で初めての花粉生産の技術開発に取り組み、花粉を県内で生産・供給する体制を早急に構築する。								
			世界的なかきょう病の流行による花粉価格の急騰、輸入検疫の強化による花粉の輸入ストップといったリスクを回避し、日本一の産地を堅持するために、全国で初めての花粉生産の技術開発に取り組み、花粉を県内で生産・供給する体制を早急に構築する。														

27 愛媛あかね和牛生産基盤強化対策事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余地あり	
指標種類1	指標名称1	単位	計画		30	30	30	事業費計 0 国費 0 その他 0 事業費計 0 国費 0 その他 0 人役 0 人件費 4,060	0	12,046	12,046	11,299	評価 事業目標であるあかね和牛の母牛導入数30頭が達成できたこと及びあかね和牛の母牛総数を目標頭数に近づけることができたことで、今後の産子数の増加が見込まれ、肥育頭数及び出荷頭数の増加に繋がることから、事業の有効性が認められる。	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余地あり	
活動 +	70- 事業によるあかね和牛母牛導入頭数	頭	実績		30	30	30		事業費計	0	10,955	10,954					10,163
			達成率		100.00%	100.00%	100.00%		国費		1,091	1,092					1,136
指標種類2	指標名称2	単位	計画	364	402	430	430		事業費計	0	10,367	10,795					
活動 +	70- あかね和牛母牛頭数	頭	実績	384	406				国費		855	720					
			達成率	105.49%	101.00%				その他		9,512	10,075					
指標種類3	指標名称3	単位	計画						事業費計	0	10,367	10,795					
			実績						国費		855	720					
			達成率						その他		9,512	10,075					
実施期間	始期 R2	終期 R4	事業の概要						愛媛あかね和牛の生産基盤強化と一貫生産体制構築のため、母牛増殖推進及び繁殖基盤設備整備等実施するとともに、生産技術指導を図ることで産地化を進める。								
			愛媛あかね和牛の生産基盤強化と一貫生産体制構築のため、母牛増殖推進及び繁殖基盤設備整備等実施するとともに、生産技術指導を図ることで産地化を進める。														

28 県産畜産物販売戦略デジタル化推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
指標種類1	指標名称1	単位	計画		173	232	240	事業費計	0	0	8,110	7,687	評価 ツナグ媒体を活用した県産畜産物のプロモーションを展開したところ、公式Instagramのフォロワー数及び公式HPへの流入者数が増加し、知名度向上における一定の効果が得られたとともに、ECサイト開設等による販路拡大を達成した。また、県産畜産物の輸出についても、台湾及び香港への継続輸出を達成した。	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
成果	+	70-	実績		156		国費				3,328	3,320							
			達成率	-	90.17%		その他												
指標種類2	指標名称2	単位	計画		10,000	11,000	12,000	事業費計	0	0	6,334	4,782				見直し 方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続	
成果	+	70-	実績		9,000		国費				3,112								
			達成率	-	90.00%		その他												
指標種類3	指標名称3	単位	計画		60,000	65,000	80,000	事業費計				3,222							
成果	+	70-	実績		50,000		国費					0.5							
			達成率	-	83.33%		その他												
			達成率	-			人役												
			達成率	-			人件費					3,025							
実施期間	始期	終期	事業の概要					事業の概要											
	R3	R5	県産畜産物の販路拡大を図るため、大口取引が見込まれる量販店等でのデジタル媒体を活用したプロモーション活動や巣ごもり需要をターゲットとしたECサイトでの販促活動を実施するほか、輸出においてもPRツール等を活用し、海外での需要創出を推進する。					県産畜産物の販路拡大を図るため、大口取引が見込まれる量販店等でのデジタル媒体を活用したプロモーション活動や巣ごもり需要をターゲットとしたECサイトでの販促活動を実施するほか、輸出においてもPRツール等を活用し、海外での需要創出を推進する。											

29 地産地消飼料増産対策事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R12)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	事業費計	6,201	6,076	5,740	5,740	評価 飼料作付面積については、播種期の天候不良等により減少に転じたが、畜産農家の飼料生産意欲は減退していないため、回復する余地がある。新規需要米については、食用米等からの転換により大幅に増加した。稲発酵粗飼料の需要が高いことから、今後も作付面積の増加が見込まれる。	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり			
成果	+	70-	実績	1,278	1,283	1,239		国費											
			達成率	91.29%	91.64%	88.50%		その他	1,799	1,799	1,799	1,799							
指標種類2	指標名称2	単位	計画	500	500	500	500	500	事業費計	4,402	4,277	3,941	3,941				見直し 方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続
成果	+	70-	実績	422	380	430		国費											
			達成率	84.40%	76.00%	86.00%		その他	1,799	1,799	1,669								
指標種類3	指標名称3	単位	計画	6	6	6	6	6	事業費計	3,702	3,189	3,692							
活動	+	70-	実績	6	6	6		国費											
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他	1,903	1,390	2,023								
			達成率					人役	3.2	3.2	3.2								
			達成率					人件費	21,780	21,652	19,360								
実施期間	始期	終期	事業の概要					事業の概要											
	H17	R7	令和7年度を目標とした「愛媛県酪農・肉用牛生産近代化計画」の実現に向けて、県飼料増産行動会議を軸に、水田を活用した飼料の増産や耕畜連携及び放牧の推進並びに食品残さの飼料化を促進し、地産地消を旗印に、地域に密着した飼料の増産に取り組む。					令和7年度を目標とした「愛媛県酪農・肉用牛生産近代化計画」の実現に向けて、県飼料増産行動会議を軸に、水田を活用した飼料の増産や耕畜連携及び放牧の推進並びに食品残さの飼料化を促進し、地産地消を旗印に、地域に密着した飼料の増産に取り組む。											

30 持続的高収益酪農システム確立事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R3)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり			
指標種類1	指標名称1	単位	計画	190	190	250	250	事業費計	10,562	10,553	9,769	0	評価 高齢化による離農が続いている中で、本事業により後継牛確保が順調に行われており、育成牛頭数は堅調に推移している。	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり			
成果	+	70-	実績	172	193	194		国費	5,214	5,214	4,822							
			達成率	90.53%	101.58%	77.60%		その他										
指標種類2	指標名称2	単位	計画	1.0	1.0	1.0	1.00	事業費計	5,348	5,339	4,947					見直し 方向性	方向1 方向2 方向3	休止・廃止
成果	+	70-	実績	1.03	0.98	1.0		国費	4,692	5,087	4,752							
			達成率	103.00%	98.00%	100.00%		その他										
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計	9,510	10,225	9,524							
			実績					国費	4,818	5,138	4,772							
			達成率					その他										
			達成率					人役	1.0	1.0	1.0							
			達成率					人件費	6,806	6,766	6,050							
実施期間	始期	終期	事業の概要					事業の概要										
	R1	R3	本県の生乳生産基盤の維持、強化を目的とし、公共牧場において性選別精液を活用し選択的に高能力な後継牛を作出する体制整備の推進や、県内状況を加味した上で、生産性向上や労働負担軽減に資するICT機器の普及、定着を推進する体制を整備する。					本県の生乳生産基盤の維持、強化を目的とし、公共牧場において性選別精液を活用し選択的に高能力な後継牛を作出する体制整備の推進や、県内状況を加味した上で、生産性向上や労働負担軽減に資するICT機器の普及、定着を推進する体制を整備する。										

31 家畜生体情報高度利用技術確立事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	向上 余地	1成果向上余地が小 さい			
指標種類1	指標名称1	単位	計画		2	4	4	5	事業費計	0	2,670	1,000	1,152	評価 乳用牛や愛媛甘とろ豚の省力管理に向け、ICTやAI等のスマート機器を使った高度管理技術確立等のため、必要なデータの蓄積やその活用のためのノウハウ蓄積が順調に進んでいる。計画に基づき事業を進めており、成果向上の余地は小さい。	向上 余地	1成果向上余地が小 さい		
活動	+	ストク	実績		2	4		国費		1,099	424	576						
			達成率	-	100.00%	100.00%		その他										
指標種類2	指標名称2	単位	計画		1	2	2	5	事業費計	0	2,209	832	見直し 方向性				方向1 方向2 方向3	このまま継続
成果	+	ストク	実績		1	2		国費		1,060	416							
			達成率	-	100.00%	100.00%		その他										
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計										
			実績					国費		1,149	416							
			達成率	-				その他										
			達成率	-				人役		1.0	1.0							
			達成率	-				人件費		6,766	6,050							
実施期間	始期	終期	事業の概要					事業の概要										
	R2	R5	将来の5G通信網の整備によるスマート畜産推進ネットワークの構築を見据え、畜産研究センターにおいて、スマート畜産のうち生産現場のニーズが高い家畜生体情報の高度利用技術確立を、生産性向上につなげるノウハウを蓄積する。					将来の5G通信網の整備によるスマート畜産推進ネットワークの構築を見据え、畜産研究センターにおいて、スマート畜産のうち生産現場のニーズが高い家畜生体情報の高度利用技術確立を、生産性向上につなげるノウハウを蓄積する。										

32 久万地域和牛産地力強化支援事業費（中予）		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余地が小 さい					
指標種類1	指標名称1	単位	計画	4	4			事業費計	0	969	969	0	評価	3頭採卵を実施し、受精卵移植技術習得に必要な20卵を確保した。今後も農場の飼養牛の動態等を勘案しながら継続的に採卵を行っていくが、農場経営の観点から大幅な頭数増加は難しい。							
成果 +	70- 採卵を実施した雌牛頭数	頭	実績	4	3		国費														
			達成率	100.00%	75.00%		その他														
指標種類2	指標名称2	単位	計画	12	12			事業費計	0	776	776	見直し 方向性					方向1 休止・廃止 方向2 方向3	単独事業としては中止するが、既定事業の中で今後も継続的に支援、指導していくこととしている。			
活動 +	70- 現地指導回数	回	実績	11	10		国費			969	969										
			達成率	91.67%	83.33%		その他														
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計		776	776										
			実績				国費														
			達成率				その他														
			達成率				県費		776	776											
							人役		0.6	0.6											
							人件費		4,060	3,630											
実施期間	始期 R2 終期 R3	事業の概要						久万地区の和牛産地力を強化するため、県・町・農家等が一体となり、受精卵移植師を早期に養成することにより、優良な後継雌牛を確保する受精卵移植体制を整備する。													

33 愛媛かんきつ21推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地が小 さい				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	1	1	1	1	事業費計	6,421	6,421	6,421	6,421	評価	3成果横ばい						
活動 +	70- かんきつ21推進協議会の開催回数	地区	実績	1	1	1	国費													
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他													
指標種類2	指標名称2	単位	計画	4	4	4	4	事業費計	6,421	6,421	6,421	6,421					見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動 +	70- 啓発資料の作成配布回数	地区	実績	4	4	5	国費													
			達成率	100.00%	100.00%	125.00%	その他													
指標種類3	指標名称3	単位	計画	510	520	530	540	事業費計	5,100	3,211	3,513									
成果 +	70- 農産物産出額のうち果樹の算出額	億円	実績	527	532	R5.3項判明	国費													
			達成率	103.33%	102.31%		その他													
			達成率				県費	5,100	3,211	3,513										
							人役		0.5	0.5	0.5									
							人件費		3,403	3,383	3,025									
実施期間	始期 S46 終期 予定・見込があれば記入	事業の概要						高品質安定生産の対策に取り組み、うんしゅうみかん、いよかんやオリジナル品種等の振興施策を講じ、かんきつ産地が持続的に発展できるよう生産体制を強化する。												

34 野菜等産地振興指導事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地が小 さい				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	42	43	43	43	事業費計	1,512	1,536	1,536	1,536	評価	野菜の指定産地・特定産地は主要野菜の作受け面積等の条件をクリアした産地を国が指定又は県が承認する制度であり、野菜栽培が減少している中、現在の指定野菜・特定野菜産地を維持することを目標とする。						
成果 +	70- 野菜指定・特定産地数	産地	実績	43	43	42	国費													
			達成率	102.38%	100.00%	97.67%	その他													
指標種類2	指標名称2	単位	計画	5,440	5,440	5,440	5,440	事業費計	1,512	1,536	1,536	1,536					見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	継続して技術指導や普及啓発等を行い、産地の強化・育成を図る。	
成果 +	70- 野菜栽培面積	ha	実績	3,790	3,651	R5.3項判明	国費													
			達成率	69.67%	67.11%		その他													
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計	1,195	872	850									
			実績				国費													
			達成率				その他													
			達成率				県費	1,195	872	850										
							人役		0.9	0.9	0.9									
							人件費		6,126	6,090	5,445									
実施期間	始期 S43 終期 予定・見込があれば記入	事業の概要						野菜・花き、特用作物の産地指導・技術普及等を行うほか、繭については、付加価値の高い銘柄繭の生産加工に係る取り組みを支援する。												

35 農畜産業振興機構等受託事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	4その他				
指標種類1	指標名称1	単位	計画	12	12	12	12	事業費計	4,370	3,096	3,060	3,044	評価	加工原料乳の数量認定事務については、法に基づき県が認定する行為であり、定期的に入立検査を実施し、認定業務を行う必要がある。						
成果 +	70- 加工原料乳の数量認定回数	回	実績	12	12	12	国費													
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	4,370	3,096	3,060	3,044									
指標種類2	指標名称2	単位	計画	12	12	12	12	事業費計	3,721	1,951	1,719						見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	本体事業の継続実施が見込まれるため、受託事業についても継続したい。なお、本体事業は、「酪農肉用牛生産の近代化を図る基本方針」に基づいて実施されるが、今後実効性の高い方向へと見直される場合は、受託事業についても同様である。	
活動 +	70- 加工原料乳の数量認定に係る県立入検査	回	実績	12	12	12	国費													
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	3,721	1,951	1,719										
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計												
			実績				国費													
			達成率				その他													
			達成率				県費													
							人役		0.7	0.7	0.7									
							人件費		4,765	4,737	4,235									
実施期間	始期 S38 終期 予定・見込があれば記入	事業の概要						農畜産業振興機構、畜産環境整備機構、地方競馬全国協会等が助成する各種事業の円滑な実施を推進するために、加工原料乳数量認定事務等を受託し、もって畜産の振興を図る。												

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

ns08

競争力のある産地づくり

1 畜産研究センター施設機器整備事業費	コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	事業費計	国費	その他	県費	人役								
評価対象外の理由	0	0	1392	0	0	0	0	1,125	0	0	0	1,125	
9月補正より後に新たに予算計上			1,392					1,125				1,125	
評価対象外その他の理由(記述)												0.1	
												605	
2 麦作経営継続緊急対策事業費	コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
事業費計	国費	その他	県費	人役	人件費								
評価対象外の理由	0	0	3510	0	0	0	0	1,832	0	0	0	1,832	
単年度事業			1,007					500				500	
評価対象外その他の理由(記述)			2,503					1,332				1,332	
								0.3				0.3	
								1,815				1,815	

4-3 事務事業管理シート（新規事業）

予算施策名

ns08

競争力のある産地づくり

1 傾斜圃地作業効率化モデル整備事業費	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	13,760
	国費	
	その他	13,760
予算	県費	

2 ひめの凜ブランド力強化事業費	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	55,840
	国費	1,625
	その他	54,215
予算	県費	

3 畜産新技術等導入支援事業費	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	27,000
	国費	
	その他	27,000
予算	県費	

4 観賞用ユウカリ産地拡大事業費（中予）	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	1,636
	国費	
	その他	
予算	県費	1,636

5 パクチャー周年安定生産体制確立事業費（中予）	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	1,673
	国費	
	その他	
予算	県費	1,673

6 高級菓子用くだもの産地確立事業費（南予）	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	1,100
	国費	
	その他	
予算	県費	1,100

7 キウイフルーツ花粉生産技術高度化試験研究費	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	1,200
	国費	
	その他	
予算	県費	1,200

8 乳用牛生涯乳量向上事業費	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	4,200
	国費	
	その他	
予算	県費	4,200

9 高病原性鳥インフルエンザ緊急対策事業費	コスト (単位：千円)		4年度
	予算	事業費計	10,380
		国費	
		その他	
		県費	10,380